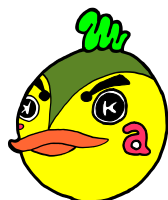


平成27年度

平成27年11月30日

学 校 だ よ り



夢に近づけ 今、鴨居がいかも！
横浜市立鴨居小学校

電話 045(931)2062

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kamoi/>

図書館教育の充実を目指して

校長 石原 敏宏

本校では11月初めの2週間を読書週間として、図書委員会が中心となって様々な取り組みを行いました。その中で、図書委員会の子どもたちが休み時間に図書館でパネルシアターを上演しました。室内を暗くし、効果音を上手に使い、紙人形を操作しながら巧みに演じ、見に来ていた大勢の子どもたちから大きな拍手をもらっていました。この他にも、集会時に体育館で全校読み聞かせを行いました。また、低学年では「冊数リレー」、高学年では「ページリレー」を行い、たくさん本を読んだクラスを表彰するなど、全校児童が本に親しむ活動を推進しました。

さて、4月から学校司書として松本先生が着任されていることは皆さんもご存知のことと思います。学校司書の配置は、国の学習指導要領の中で、「言語活動の充実」や「読書活動の充実」が示され、目的に応じて本や文章を選んだり、日常的に読書に親しんだりするために、学校図書館を計画的に利用することが求められるようになったことを受けた、横浜市の施策の一つです。本校でも松本先生の活動で、学校図書館がきれいに使いやすく整備されています。

松本先生は、親しみやすい図書館にするために環境整備を行い、本の整理だけでなく、子どもたちが新しい本に興味をもてるように紹介コーナーを設けたり、掲示の仕方を工夫したりしています。この他にも「図書館だより」を発行して、図書館の様子を保護者の皆さんへ発信しています。

休み時間に図書館に来る子どもたちが増えているのも嬉しい現象です。本を読む子どもたちが増えても、松本先生がいるので図書館は静かで落ち着いた雰囲気になっています。



学校司書のもう一つの役割である授業支援にも入っています。6年生にブックトークの授業を行ったり、1年生に図書館の使い方のオリエンテーションを行ったりしてきました。

学習支援以外にも、本校の図ボラ（図書ボランティア）Aと図ボラB、そして読み聞かせの「マザーグースの会」の3つのグループと学校との連携の窓口を務めています。図ボラAの皆さんは図書館前のショーケースや壁の飾りを、そして図ボラBの皆さんは、蔵書の修理や新しく購入された本の管理をして図書館を支えています。

学校司書の配置により、図書環境が整備され喜ばしい限りです。「本は心の栄養」という言葉があるように、本は多くのことを私たちに伝えてくれます。これからの時代を担う子どもたちが、多くの本に親しみ、本を読む機会が増えていくことを願っています。子どもたちの言語活動の充実を目指して、学校司書の活用と図書館の充実を更に図っていきたいと考えています。